

ファンド概況

基準価額	7,834円	純資産総額	471百万円
設定日	2008年4月24日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

期間別騰落率(%)

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
0.42	3.54	-4.60	0.77	-3.38	-21.66

分配金(円)

直近3期を表示

2期 (‘10/2/25)	3期 (‘11/2/25)	4期 (‘12/2/27)	累計
0	0	0	0

基準価額と純資産総額の推移



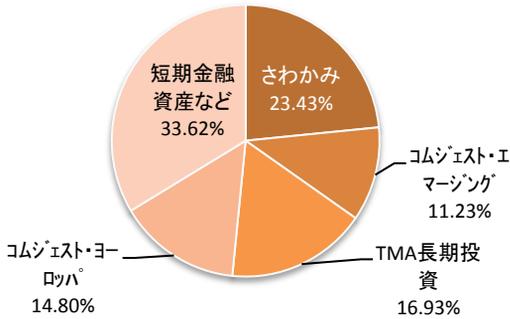
運用コメント

10月の世界の株式市場は、9月に引き続き、FRB(米国連邦準備理事会)、ECB(欧州中央銀行)や日銀による金融緩和の継続による資金需要への安心感から、前半は概ね堅調に推移しました。しかし、10月19日の米マクドナルドの決算発表で前年度比で小幅に減収減益となったことを機に世界の株式市場は調整色を強めました。ドル、ユーロ共に対円で2-3%の円安傾向となった事で、MSCIワールド指数は、円換算で2%強上昇しました。一方、日経平均株価は、震災後の原油輸入の増大や対中輸出の減少で日本の貿易収支の赤字傾向が定着してきたこと等を受けて、主要通貨に対して円安に振れている事が支えとなり、月間では小幅に反落して終わりました。米グローバル企業の収益が世界経済の同時減速によって、悪化している事に関しては、先のマクドナルドのドン・トンプソンCEOが決算発表後の電話会見で「世界の主要市場すべてで景気減速の影響が表れた経験はめったにない。」と発言しているように、世界のグローバル企業の収益環境が急速に悪化している事を示しています。加えて、今まで堅調であったIBMやインテル等のIT関連企業にも広がっていることから、各企業が今後、世界各地でリストラを実施する可能性が予想されます。その結果、設備投資や雇用抑制の動きが同時に強まれば、最後の砦である個人消費に水を差しかねず、今後、世界経済が金融政策のみで、拡大出来るのかどうかを見極める局面に差し掛かっているもとと考えています。

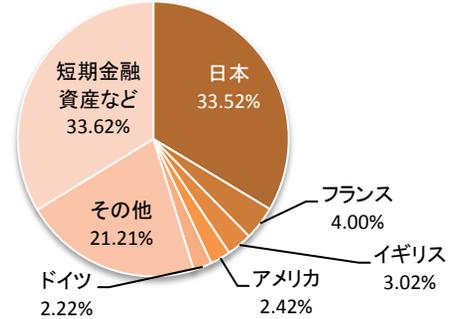
10月のらくちんファンドの運用結果に関しては、為替の影響を受ける外国株式の組入れが功を奏して+0.42%の上昇となりました。ファンドの組入れ状況は、欧米の株価が高値圏にあることから、外国株式に投資するファンドを中心に一部売却を実施しました。9月から、今後の世界経済の減速を織り込む形で、新興国市場に投資するファンドの組入れ比率を引下げており、今後は欧米市場に投資するファンドの引下げも検討中です。膨大な日米欧の金融緩和による過剰流動性相場の影響で株式、商品、不動産等の市場を下支える働きをする一方、主要国通貨の希薄化が進んでいます。歴史の教訓では、このような通貨の希薄化は将来のインフレを招く可能性を示唆しています。特に現在のデフレからインフレへと変化した場合は、株式、商品、不動産等の実物資産への選好がさらに強まるものと予想しています。このような環境の下、構造的な日本の弱点とも言える輸入農産物や農業ビジネス、鉱山会社等に投資するファンドへの投資を検討しています。長期的に将来のインフレに対応しつつ、円ベースでの資産形成に資する資産配分を計画しています。

ポートフォリオの状況

資産構成比率



国別投資比率



らくちんファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入れ銘柄数: 263銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入れ比率	組入れファンド名
1	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	1.03%	さわかみ
2	SAP AG	世界第3位のアプリケーション・ソフトウェア会社	0.96%	コムジエスト・ヨーロッパ
3	INDITEX	スペインのアパレルメーカー『ZARA』など	0.96%	コムジエスト・ヨーロッパ
4	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	0.88%	さわかみ
5	DASSAULT SYSTEMES SA	フランス最大のソフトウェア会社	0.80%	コムジエスト・ヨーロッパ
6	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	0.79%	TMA長期投資
7	LINDE AG	ドイツの化学工業メーカー	0.76%	コムジエスト・ヨーロッパ
8	L'OREAL	フランスの世界最大の化粧品メーカー	0.76%	コムジエスト・ヨーロッパ
9	三菱重工業	船舶、航空など総合機器メーカー	0.71%	さわかみ
10	花王	洗剤、トイレット、化粧品など製造	0.65%	さわかみ
11	HEINEKEN NV	世界第3位のビール会社	0.64%	コムジエスト・ヨーロッパ
12	EXPERIAN PLC	アイルランド本社の情報サービス業	0.62%	コムジエスト・ヨーロッパ
13	HENNES & MAURITZ AB-B SHS	スウェーデンのアパレルメーカー『H&M』など	0.62%	コムジエスト・ヨーロッパ
14	NOVOZYMES A/S-B SHARES	産業用酵素製品を供給(デンマーク)	0.60%	TMA長期投資
15	ESSILOR INTERNATIONAL	フランスの光学製品メーカー。日本ではニコンと合併	0.60%	コムジエスト・ヨーロッパ
16	BARRICK GOLD CORP	金生産量世界一(カナダ)	0.58%	TMA長期投資
17	SODEXO	主にフードサービスのアウトソーシングを受託(フランス)	0.58%	コムジエスト・ヨーロッパ
18	ミスミグループ本社	機械加工製品の企画・販売	0.55%	TMA長期投資
19	エア・ウォーター	総合ガス企業	0.55%	TMA長期投資
20	国際石油開発帝石	石油や天然ガスの開発	0.54%	さわかみ

ファンドの特色

①「長期投資」を実現するためのファンドです。

- ・長期的に安定した運用が行われているファンドであり、かつ将来にわたってもその運用が継続される可能性が高い複数のファンドを厳選します。
- ・運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替え(現預金と組入れファンドの投資比率の変更)を大前提とし、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。
- ・運用にあたり、特定のベンチマークを設けることはしません。また、短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

②投資対象ファンドを厳選します。

- ・主として日本株、海外株等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
- ・ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視します。
- ・運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件です。
- ・基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかも重要な判断基準です。

③日本株および海外株へ広く投資します。

- ・投資対象であるファンドを通じて、先進国から新興国まで幅広く世界の株式を中心に投資します。
- ・国や企業の高い成長性を世界に求める一方で、グローバルな成長による恩恵を受ける日本企業へも日本株ファンドを通じて、積極的に投資を行います。
- ・日本株と海外株の投資比率は50:50を当面の運用目標としておりますが、相場環境等により、この比率は大きく変わることがあります。

④ファンド・オブ・ファンズの仕組み

- ・個別の株式、債券等に直接投資するのではなく、株式や債券等に投資している複数の投資信託に投資します。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

＜お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください＞

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	お申込日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.945%(税抜き0.90%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.3%(概算)
その他費用・ 手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等 *これらの費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

業務管理部からのお知らせ

【『毎月つみたてサービス』のお取扱い内容共通化について】

弊社では、「お客様の分かりやすさ」と「弊社の直販事務効率化」の観点から下記の通り『毎月つみたてサービス』のお取扱い内容を共通化することといたしました。

- ◆開始期間：平成25(2013)年1月4日お申込み分より
- ◆お申込み単位：10,000円以上1,000円単位
- ◆増額月の設定：好きな月を年2回まで(1,000円以上1,000円単位)

※現在ご利用いただいているお客様については、変更の必要はございません。

※今後、変更される場合は新しいお取扱い内容でのお申込みとなります。

【特定口座の源泉徴収区分の変更について】

特定口座をご利用いただいているお客様の、2013年適用分源泉徴収区分の変更受付を10月より開始しております。「源泉徴収あり・なし」の変更をご希望のお客様は、お電話にて「特定口座源泉徴収選択届出書」をご請求くださいますようお願い致します。

【特定口座の継続手続きについて】

特定口座制度では、法令に基づいて特定口座の残高がなくなった日から2年を経過したその年の12月31日までにご利用のなかった特定口座は、その翌年1月1日に特定口座廃止届出書の提出があったものとみなされ、当該特定口座を廃止することになっています。引き続き特定口座の利用をご希望されるお客様は、お電話にて「特定口座取引継続届出書」をご請求ください。なお、書類のご提出を含め、弊社での手続きが年内に完了するようお願い致します。

【毎月つみたてサービスをご利用のお客様へ】

新規申込・引落口座の変更および購入金額の変更をご希望の場合には、それぞれ締切日がございます。各種変更をご希望の際は、弊社業務管理部までご連絡ください。(所定の用紙をお送りします)

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止締切日	引落日	約定日
平成24年12月	受付終了	11月21日(水)	12月5日(水)	12月17日(月)
平成25年1月	12月3日(月)	12月18日(火)	1月7日(月)	1月18日(金)
平成25年2月	12月26日(水)	1月23日(水)	2月5日(火)	2月18日(月)

業務管理部 東京03-3222-1220／大阪06-4790-6200 平日9時～17時

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。